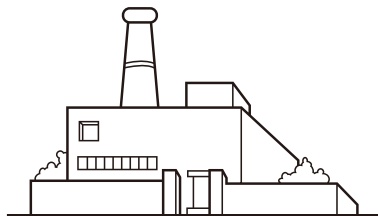


クリーンセンター建設に向けて



～クリーンセンター建設には、皆様のご理解とご協力が必要です～

今回は、生ごみの減量方法と地球温暖化との関係について紹介しました。今回は、建設・稼働を目指しているクリーンセンターにおける最新の設備などを紹介します。

クリーンセンターは欠かすことのできない施設

現在、燃やすごみを処理している打越台環境センターは、稼働から30年が経過しており、老朽化が相当進むとともに、開発などによる人口増に伴うごみ量の増加などにより、処理しきれない状況にあります。このため、私たちの日常生活に欠かすことのできないクリーンセンターの一日も早い稼働を目指し、建設を推進していきます。

クリーンセンターは安心・安全な都市施設

近年建設されているクリーンセンターは、最新技術を導入し、臭気、汚水、また排ガスなどの対策を講じたクリーンな施設です。本市が目指しているクリーンセンターにおいても、公害対策はもちろん、デザイン的にも考慮し、皆さんに親しまれる都市施設として建設を推進していきます。

施設における最新技術は

最近のクリーンセンターは、次のような技術を用いた対策が講じられています。本市が目指すクリーンセンターも、このような最新技術を活用し、より安全・安心な稼働を目指し、建設を推進していきます。

臭気対策

収集車の搬入口は、自動開閉扉とエアーカーテンによる2重扉が設置されています。自動開閉扉は通常閉まっております。搬入時のみ開きます。また、開いた時は、エアーカーテンが作動するとともに、外部の空気をピット内に送り込み、室内の空気を外部に漏れないように遮断対策が講じられています。

汚水対策

プラント内で使用した排水は、処理した後、再利用しています。

排ガス対策

燃焼室から出た排ガスは、有害物質が再合成されないように急冷却するとともにフィルタできれいにします。その後、安全になった排ガスを、煙突から排出しています。また、排ガス数値は、法令基準より厳しい自主基準を設定し、より安全な稼働をしています。なお、これらの排ガス数値については、施設入口などに電光掲示板を設置し公開しており、誰もがリアルタイムで監視できます。

クリーンセンターはエネルギー回収推進施設

クリーンセンターでは、燃やすごみを減量・安定化させるため、焼却処理をしますが、燃焼に伴って熱を出します。燃焼温度は800度以上になるため、その熱をボイラで蒸気の形で回収し、蒸気は場内で利用するほか、タービン発電機により電気エネルギーに変換し利用しています。

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室
☎75-1215 Fax72-3900
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp